



2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月10日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
 コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石井 峯夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 忠則 TEL 084-960-1247
 四半期報告書提出予定日 2021年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	10,788	29.7	1,452	103.1	1,426	101.0	1,127	106.3
2021年1月期第3四半期	8,316	8.9	715	113.2	709	182.1	546	336.9

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 1,355百万円 (173.3%) 2021年1月期第3四半期 496百万円 (66,217.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	138.25	—
2021年1月期第3四半期	67.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	13,626	4,947	36.3
2021年1月期	12,388	3,672	29.6

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 4,947百万円 2021年1月期 3,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年1月期	—	0.00	—		
2022年1月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,802	19.1	1,556	44.3	1,484	38.8	1,212	66.8	148.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	8,176,452株	2021年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	23,501株	2021年1月期	23,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	8,152,990株	2021年1月期3Q	8,153,114株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が断続的に続き厳しい状況で推移いたしました。9月に入り新型コロナウイルス感染者の減少が見られ、緊急事態宣言も10月以降解除されるなど、今後においては経済活動の活性化が期待されます。

当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症により、国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞など、引き続き事業活動へ影響を受けたものの、次世代通信規格「5G」市場並びに半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大しており同分野での設備投資が増加したことや中国経済の拡大により、前年同期と比較して業績の回復が見られました。一方で半導体などの電子部品の供給不足、原油や天然ガスの価格高騰等生産活動の下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は107億88百万円（前年同期比29.7%増）となり、営業利益は14億52百万円（前年同期比103.1%増）、経常利益は14億26百万円（前年同期比101.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億27百万円（前年同期比106.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、次世代通信規格「5G」市場並びに半導体向けのパッケージ基板の需要拡大に伴い同分野での設備投資が増加したことなどから、前年同期と比較し売上高は増加いたしました。

液晶関連分野におきましては、液晶パネル需要の増加に伴いパネルの生産が高水準で推移し生産消耗品の販売は増加しましたが、インクジェットコーターの販売台数は減少したため、前年同期と比較し売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は38億32百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は8億43百万円（前年同期比51.9%増）となりました。

(ディスプレイおよび電子部品)

自動車向け印刷製品は、前年からスタートいたしました新規顧客向けの生産が順調に推移し、前年同期と比較し売上高が増加いたしました。工作機械および産業用機械分野については、半導体などの電子部品の供給不足による納期の長期化を見越した客先からの先行発注の動きが増加する中、部材調達先の拡大など生産体制維持に努めた結果、売上高は前年同期と比較し増加いたしました。

連結子会社であるJPN, INC. は、フィリピン国内において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中でも引き続き通常の生産体制を維持し顧客の需要増加に対応した結果、前年同期に比べ増収増益となりました。上海賽路客電子有限公司についても、次世代通信規格「5G」、電気自動車（EV）、産業機械、家電製品などを中心に中国経済の回復傾向が続く中、電子部品実装の需要も増加しており前年同期に比べ増収増益となりました。

その結果、売上高は69億49百万円（前年同期比36.3%増）、営業利益は6億9百万円（前年同期比277.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ12億38百万円増加の136億26百万円となりました。

流動資産は、82億56百万円となり前連結会計年度末と比べ12億10百万円増加いたしました。これは現金及び預金が8億48百万円、受取手形及び売掛金が3億92百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、53億70百万円となり前連結会計年度末と比べ27百万円増加いたしました。これは無形固定資産が50百万円減少しましたが、有形固定資産が63百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ35百万円減少の86億79百万円となりました。

流動負債は、73億9百万円となり前連結会計年度末と比べ23億2百万円増加いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金が20億67百万円、支払手形及び買掛金が2億88百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、13億69百万円となり前連結会計年度末と比べ23億38百万円減少いたしました。これは長期借入金が23億67百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、49億47百万円となり前連結会計年度末と比べ12億74百万円増加いたしました。これは剰余金の配当を81百万円実施したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を11億27百万円計上し、利益剰余金が10億45百万円増加したこと、為替換算調整勘定が2億27百万円増加したことなどによるものであります。この結果自己資本比率は36.3%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は想定を上回って推移しておりますが、今後電子部品ほかの原材料の価格高騰、供給不足が当社グループの業績下押し要因となりうることなどから、2021年9月10日に公表しました連結業績予想を据え置いております。

今後状況の変化により当社グループの連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,502,368	3,350,386
受取手形及び売掛金	2,464,848	2,857,172
商品及び製品	204,599	288,566
仕掛品	1,112,828	665,857
原材料及び貯蔵品	635,344	957,608
その他	127,067	136,686
貸倒引当金	△1,905	△191
流動資産合計	7,045,151	8,256,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,215,412	1,197,300
土地	2,107,859	2,098,328
その他(純額)	1,321,101	1,412,329
有形固定資産合計	4,644,373	4,707,958
無形固定資産		
その他	381,428	330,883
無形固定資産合計	381,428	330,883
投資その他の資産		
その他	378,084	397,570
貸倒引当金	△60,737	△65,768
投資その他の資産合計	317,346	331,802
固定資産合計	5,343,148	5,370,644
資産合計	12,388,300	13,626,728
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579,946	1,868,118
短期借入金	1,680,344	1,706,500
1年内返済予定の長期借入金	400,000	2,467,000
未払法人税等	100,666	209,393
前受金	411,322	16,580
賞与引当金	27,059	141,411
その他	807,700	900,655
流動負債合計	5,007,039	7,309,658
固定負債		
長期借入金	2,367,000	—
退職給付に係る負債	524,456	532,221
その他	816,881	837,596
固定負債合計	3,708,337	1,369,817
負債合計	8,715,377	8,679,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,107,799	1,107,799
利益剰余金	2,675,602	3,721,206
自己株式	△20,120	△20,186
株主資本合計	4,063,281	5,108,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,973	△8,851
為替換算調整勘定	△377,681	△150,536
退職給付に係る調整累計額	△2,704	△2,179
その他の包括利益累計額合計	△390,359	△161,567
純資産合計	3,672,922	4,947,252
負債純資産合計	12,388,300	13,626,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
売上高	8,316,568	10,788,792
売上原価	6,100,547	7,714,864
売上総利益	2,216,020	3,073,927
販売費及び一般管理費	1,500,491	1,620,993
営業利益	715,529	1,452,934
営業外収益		
受取利息	7,237	7,104
受取配当金	331	404
受取賃貸料	16,880	21,540
助成金収入	60,493	24,772
その他	7,127	6,626
営業外収益合計	92,069	60,449
営業外費用		
支払利息	42,865	42,281
為替差損	15,185	6,850
減価償却費	23,029	21,590
その他	16,853	16,113
営業外費用合計	97,934	86,835
経常利益	709,664	1,426,547
特別利益		
固定資産売却益	2,827	9,559
投資有価証券売却益	2,044	—
特別利益合計	4,871	9,559
特別損失		
固定資産売却損	318	—
固定資産除却損	36	2,666
減損損失	—	9,530
特別損失合計	354	12,197
税金等調整前四半期純利益	714,182	1,423,908
法人税等	167,826	296,775
四半期純利益	546,355	1,127,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	546,355	1,127,133

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	546,355	1,127,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△866	1,122
為替換算調整勘定	△38,710	227,145
退職給付に係る調整額	△10,722	524
その他の包括利益合計	△50,300	228,791
四半期包括利益	496,055	1,355,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	496,055	1,355,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞、客先における設備投資延期など、事業活動に影響を受けております。新型コロナウイルス感染症の終息時期については、概ね2022年1月期中を想定しており、2023年1月期には経済状況は改善に向かうと仮定し、会計上の見積り（固定資産の減損等）を行っております。

なお、前連結会計年度の決算短信に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などによる仮定および会計上の見積りについて、重要な変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響については不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,208,941	5,100,440	8,309,382	7,186	8,316,568	—	8,316,568
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,208,941	5,100,440	8,309,382	7,186	8,316,568	—	8,316,568
セグメント利益又は損失 (△)	555,120	161,737	716,858	△1,329	715,529	—	715,529

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年2月1日至2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,832,563	6,949,444	10,782,007	6,784	10,788,792	—	10,788,792
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,832,563	6,949,444	10,782,007	6,784	10,788,792	—	10,788,792
セグメント利益	843,099	609,698	1,452,797	136	1,452,934	—	1,452,934

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントに帰属しない全社資産において、不動産の売却を決定したことに伴い減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9,530千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。